



《新年を迎えられた大古見神社》

## 鉢盛おろし

1年は365日

私が若い頃、仕事(課題)の期日に追われ精神的に辛かった時、私の上司が私に届けてくれた言葉に「1日は24時間」との言葉がありました。迫り来る期日に追われ、本筋を見失った私に、時の永さを感じさせ落ち着きを与えてくれました。そして声を掛けて頂いた氣遣いが、心に優しく浸透し、ホッと一息つきました。それから、1日は物事を行うには十二分な時間があるのだと、考えるようにしています。

そして還暦を迎える今、コロナの脅威、働き方改革、健康のための生活習慣の見直し、新たな課題です。考え方によっては、生活のリズムをより向上させるチャンスかもしれません。更に今月は1年の始まりの月です。生活のリズムを変えようとしているのは、私だけではないと考えます。そんな方に差し上げたいのが、1年は365日との言葉です。1年の計を、忙しい日々の手を休め、ホッと一息ついて決めようではありませんか。1年は365日もあるのです。焦らず、冷静に、安全第一で、世の中に対して身構え、1年の計を立ててみてはいかがでしょうか。

# 新年 謹賀



公民館長  
清澤 正文

## 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとう  
ございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

公民館を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、ここ2年間はコロナ感染防止の為、また長野県から



教育長  
百瀬 司郎

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとう  
ございます。

ご家族お揃いで、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭に当たり、教育委員会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年後半は、コロナもよう

の要請もあり、公民館事業は文化祭を除き、人数制限をしての講演会、あるいは行事自体を中止という選択をした次第でございます。

昨年実施しました、公民館事業アンケートには126名という多くの皆様にご回答いただき、誠にありがとうございます。感謝申し上げます。アンケート結果の一例をあげますと、「公民館に期待することは何ですか」の問いに対し、多い順から「世代間交流」「仲間づくり」「知識の習得」「人生の豊かさ」「健康維持」等があり、こ

やく落ち着きを見せたと思いましたが、新たなオミクロン株の市中感染が始まり、今後が心配されるところです。引き続き感染予防の年となりますが、皆様方にはくれぐれもご自愛いただきますようお願いいたします。

昨年は、中央公民館の講堂を改修し、耐震耐火が強化された美しい講堂に生まれ変わりました。今後、様々な会合や催しに活用していただければ幸いです。また、昨年もコロナ禍で長寿を祝う会やお

れこそが公民館活動の原点だと再確認したところでございます。

まだまだ、たくさんのご意見を頂戴しており、もちろん活動を全否定のご意見もありました。

『高齢化に伴う、分館運営委員の負担の軽減と少人数化』、『クラーサー発生の危険があります、飲食を伴う「長寿を祝う会」の再検討』、『長年の伝統であります、地区対抗で行う「村民運動会」の在り方の見直し』等、課題が山積しておる公民館であります。分館長・主事会議実行委員会で討議し改善して

いきたいと考えております。

いずれにしましても、制限をかけられ、悔しかった2年間をよい機会ととらえ、公民館役員・関係者は、頂いたご意見を真摯に受け止め、組織の改善や、行事の見直しに努めていく年となると思っております。

村民の皆様、ますますのご指導・ご協力とご参加を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村民皆様や公民館にとりまして、より良き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

只今集計中ですが、いただいた多くのご意見を生かしながら、活気あふれる朝日村を築くため、新たな公民館活動の方向性を検討したいと考えています。

教育委員会では、これからも感染防止策をとりながら、子育て施策の充実と子どもたちの健やかな成長の応援をして参ります。

結びに、皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



# 2021年を振り返ろう

2021年は、新型コロナの蔓延・変異株での感染拡大により、経済・物流への影響がさらに拡大し、そんな中でもオリンピック・パラリンピックが開催され、重要な選挙も行われた年でした。振り返って見ましょう。

## ◆朝日村の出来事

## ◆国内の出来事

◆消防団出初式中止

1月

◆皇居一般参賀が新型コロナのため中止  
◆大学入学共通テスト初実施

◆あさひ保育園「豆まき会」開催  
◆朝日美術館「あさひこ展」開催

2月

◆新型コロナワクチン接種開始  
◆大坂なおみが全豪テニスで2年ぶり2度目の優勝

◆古見分館「文化発表会」開催  
◆第3期向陽台住宅団地分譲

3月

◆高校野球「春夏甲子園」、2年ぶり開催  
◆ゴーン被告国外逃亡支援容疑の米国籍親子逮捕

◆あさひ保育園入園式・朝日小学校入学式  
◆JA野菜予冷庫集出荷施設竣工  
◆村メール配信サービススタート

4月

◆ゴルフ松山英樹がマスターズで日本男子初の優勝  
◆菅首相が温室ガス13年度比46%の削減目標を表明

◆新型コロナワクチン接種開始  
◆中央公民館講堂改修工事・ヘリポート整備工事竣工  
◆ほ場整備御道開渡工区竣工

5月

◆日本人宇宙飛行士2名がISSから相次ぎ帰還  
◆教員らによる、わいせつ行為防止の新法が成立

◆朝日村小学校タブレット貸与・トイレ改修工事竣工  
◆新型コロナ対応でお夏まつり中止決定

6月

◆陸上男子100mで山縣亮太が9秒95の日本新  
◆千葉県市道で、下校中児童の列にトラック、5人死傷

◆朝日村ドクターヘリ離着陸訓練  
◆小学4.5年生やまめ稚魚の放流  
◆小学4年生せせらぎサイエンス

7月

◆静岡・熱海で土石流発生、死者・行方不明者27人  
◆東京オリンピック「原則無観客」にて1年遅れで開催

◆子育て支援センター わくわく夏まつり開催  
◆集中豪雨による避難所立上げ

8月

◆新型コロナ変異「デルタ株」が流行し、医療体制逼迫  
◆東京パラリンピック「原則無観客」にて開催

◆村議会構成 新たなスタート  
◆朝日村戦没者慰霊祭  
◆村公式LINEアカウント開設

9月

◆デジタル庁が発足  
◆菅首相退陣、岸田氏が自民党総裁に選出、首相に就任

◆令和3年度朝日村文化祭・表彰式  
◆新型コロナワクチン2回目接種終了

10月

◆温暖化予想の真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞  
◆衆院選で自民党が単独過半数超え

◆JA野菜実績検討会開催  
◆針尾分館「落語会」開催  
◆村民ゴルフ大会開催

11月

◆大谷翔平メジャーMVP受賞、藤井聡太竜王最年少四冠  
◆変異株「オミクロン株」対策で外国人新規入国停止

◆交通死亡事故ゼロ6,000日達成 塩尻署から感謝状  
◆スキー場・スケート場 オープン

12月

◆大阪クリニック放火殺人で25人死亡、容疑者も死亡  
◆コロナの変異「オミクロン株」、全国で637人感染

## 2021年の漢字

その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2021年は「金」が選ばれました。それは、東京五輪・パラリンピックで多くの金メダルを獲得した他、大谷翔平選手の活躍によるMVP受賞、藤井聡太竜王の最年少四冠達成など、各方面で金字塔が打ち立てられたことが理由となったようです。

金

## ～朝日村の人口・世帯数～

(前年比)  
人口 4,405人(-73人)  
男性 2,161人(-53人)  
女性 2,244人(-20人)  
世帯数 1,533戸(+3戸)  
(2021年12月31日現在)

# 年男 年女からの メッセージ



2022年は、寅年です。北京冬季オリンピック、秋にはワールドカップカタール大会が開催される年です。今年の年男年女の皆様から新春メッセージを頂きました。

## 平成22年生まれ



さくら  
筒井沙久良さん  
(北村)

### 読書三昧

今年読書三昧の年にします。理想は「朝起きてから寝るまでずっと読書（ご飯や風呂等は除く）」なのですが、無理そうなので、せめて1日5〜6時間確保して2冊以上、1年で500〜1000冊は読みたいです。そして「本好きの下剋上」を全巻集めて毎日読みます。中学生になって自転車通学は大変だと思いつ、勉強も難しくなっているけれど、全力と根気でさっさと終わらせて、読書のためにがんばります。

## 平成22年生まれ



たけだ  
武田 哲平さん  
(古見)

### ぼくががんばっていること

ぼくは、小さい頃からスピードスケートをやっています。お姉ちゃんとお兄ちゃんがやっていたので、ぼくもやり始めました。小さい頃の事は、あまり覚えていないけれど、寒くて泣いていた事は覚えています。そして今は、高学年になり練習もきつけれど、ライバルが強いので、練習を積み重ねて、1位をとれる様がんばっていきたいです。

お兄ちゃんの記録をぬりかえたいです。

## 平成10年生まれ



りょうた  
田内 竜太さん  
(中組)

### 今年の抱負

明けましておめでとうございませう。2回目の寅年を

迎えました。昨年も新型コロナの影響で行動範囲も限られてしまいましたが、お陰様で私はアウトドアにアタリつけました。ゴルフはもともと力を入れた1年でした。おかげでゴルフを始めてから3年余りですが、ベストスコアが80でしたので、今年は70代を出すまでがんばりたいと思います。

また、大型バイクの免許を取ったので、大型バイクを買って、景色の良いところや遠くまでツーリングを楽しんで、リフレッシュ出来たらと思っています。

とにかく今年も年男とすることで健康や事故に気を付けて飛躍の年としたいと思います。

## 昭和61年生まれ



ひでゆき  
田内 秀幸さん  
(本郷)

### 今年の抱負

人から教えてもらうまで、年男というものを今まで気にせず過ごしてきました。知らずのうちに3回目というこ

とです。

ひとつの節目ということで、12歳、24歳、36歳の自分をふりかえってみると、まず周りの人や住んでるところは大きく変わりました。また当然なのでしょうが立場などもそれぞれ違い、それに合わせ心持ちも多かれ少なかれ変化があったように感じます。

ただそのような変化があっても、金太郎飴的に変わらないうちの自分の断面がぼんやりと見えてき、自分自身にウンザリしつつもホッとするような気がします。

これからも思いもよらぬ大規模なスケールの変化が起こると思います。それらを受け入れ、周りの人に優しく接することが出来るよう日々過ごしていきたいと思います。

## 昭和37年生まれ



あべ  
安部 司さん  
(芦之久保)

### 今年の目標

いつの間にかやら還暦を迎えるような年齢になってし

# 新春恒例企画

# われら寅年



私、72歳、6回目の年女が  
回ってきました。長女も年女、  
2人の年女に今年は良い事

## 年女に思う



かみはら  
上原はるゑさん  
(清水ヶ丘)

## 昭和25年生まれ



今年は何を作ったか、この  
エンジンをまた空に上げる  
のを当面の目標にしようと  
思います。

生きてきた中で学んだ事  
よく言われる、矢の様に過  
ぎる時間、そして日々。その  
日々が積み重なり72年。喜怒哀

## 生きてきた中で学んだ事



しろき  
白木まち子さん  
(古見)

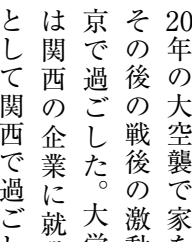
## 昭和25年生まれ

でも、へこんでばかりいて  
も仕方ないから、これからは、  
のんびり、ゆっくり、前を向  
いて、弱くなってきた頭と体  
を動かして、笑って、楽しく、  
人生を過ごして行きたいです。

昔の様に、自由に思ったま  
まに、なんでも出来る日がこ  
れから先に来るのか時々考え  
てしまうこの頃です。

健康寿命百才を目指す  
東京生まれの僕は、昭和  
20年の大空襲で家を焼かれ、  
その後の戦後の激動期を東  
京で過ごした。大学卒業後  
は関西の企業に就職し、主  
として関西で過ごしてきた  
が、平成20年に朝日村に単  
身移住した。

## 健康寿命百才を目指す



てくち ひてお  
出口 英雄さん  
(北村)

## 昭和13年生まれ



てくち ひてお  
出口 英雄さん  
(北村)

この先も、その様に生きて  
行きたいです。

いくつかの持病をかかえな  
がら比較的元気であり、健

## 健康寿命百才を目指す

年末のお忙しい中ご協力頂き  
誠にありがとうございます。  
本年が皆様にとってより  
良い年になり、また変異株が  
流行り始めたコロナウイル  
スの早期収束を切に願って  
おります。

## 健康寿命百才を目指す

メッセージを頂いた皆様、  
年末のお忙しい中ご協力頂き  
誠にありがとうございます。  
本年が皆様にとってより  
良い年になり、また変異株が  
流行り始めたコロナウイル  
スの早期収束を切に願って  
おります。

## 健康寿命百才を目指す

また英語、数学を主体とす  
る学習塾は、まだ知力、体力  
も残っているので続けていき  
たい。

一昨年は英検準2級の合  
格を目指す高校2年生の入  
塾があり、無事合格させるこ  
とが出来てとても嬉しく思  
いました。今年も、勉強に、運  
動に励む子供達を応援して  
いきたいと思っています。

哀楽、数々の経験が今の私を  
形成しています。  
生きていく限り学びがあり  
ます。身に付いた学びの一つ  
に「思った事、迷った時は行  
動する」というのがあります。  
行動を躊躇して後悔が多々あ  
り、学習しました。行動を決  
めると努力が始まり、大概結  
果は良しに繋がります、充実と達  
成感が味わえ、世界も広がり  
ます。





# 住民協働 って何？



# なぜ 必要なの？



昨年12月「協働のむらづくり」について、中央公民館で講演会が開催されました。「協働」って言うけれど、私たちは何をすればいいの？なぜ、今協働が必要なのか疑問に思い、役場企画財政課の担当者にお聞きしました。

令和3年4月に村から「協働のむらづくりハンドブック」が届きました。

その中で、「人口減少や高齢化など社会情勢が変化していく中、村が魅力ある村として持続していくためには、行政と皆さんがお互いに手を取り合いながら、「協働」して地域の課題に取り組んでいくことが重要」と書いてありました。

日常生活の中で、行政から協働と言われても、何をどうすればいいのか、協働することで何がどう変わるのか理解したいと思いい、次の質問にお答えいただきました。

## Qなぜ、協働が必要なの？

朝日村の人口が減少し、高齢化が進む中、村民のニーズや暮らしの困りごとは増加しています。一方で税収の減少などにより、これまで行政が提供してきた公共サービスの在り方を見直していかなければ、今後も持続的なサービスを続け

ていくことが難しい状況です。また、核家族化が進み、高齢者世帯が増え、地域の支え合いの関係も弱くなっ

てきています。こうした中で、村民のニーズに沿った「公共サービス」を効果的に行うため、行政だけでなく、様々な人や団体が一緒に力と知恵を合わせる必要があります。

## Q「協働のむらづくりハンドブック」の意図は？

村では、既に協働の取り組みが進められています。例を挙げると「村民皆さん（地区、PTA、企業）による道路の除雪」「各地区の草刈りボランティア」「県シニア大学あさひ会による朝日美術館の清掃」「森のこびと（NPO法人レスパイトケアはちもり）によるお弁当配達と高齢者見守り活動」などがあります。これら既にある協働の取り組みを更に推進していくことと、そして新しい協働の取組みについて考え、実

行に移していくために「協働」について今一度考え、理解を深めていただくことを目的として作成しました。



「協働のむらづくり」講演会

## Q「協働」は何をすればいいの？

「生活上の課題に対し、お互いに知恵を出し合い協力して解決すること」「学びや楽しみを実感できる場や行事を協力してつくること」「自らの強みやできることを活かした活動をする」と「などが、協働に繋がります。

公民館活動もその一つで、身近な地域の問題を自分の問題として捉えなおし、積極的に参加したり、協力す

ることができれば今よりももっと魅力ある暮らしやすい地域になると考えますので、まずは、協働について正しく捉えていただき、そして身近な協働の取り組みに参加し、その輪を広げていくことへの協力をお願いします。

講演会等お聞きし、「協働」には、様々な形があることがわかりました。私たち一人ひとりが、もう一度「協働」について理解を深め、村や身近な地域の課題に少しでも関わっていくことが、住みやすい朝日村につながるっていくことなのか、また、それが私たちの大切な役割なのかなと感じたところです。



各地区による草刈りボランティア  
(提供：役場建設環境課)



# シリーズ おらが村の地元職 ④



## 朝日そば ふじもり

西洗馬のお寺の近くで、空き家だった築100年の古民家を改装して営んでいるお店です。田舎色が味わえる民家という感じで温かみのある印象、店内もとても良い雰囲気になっていて落ち着いて楽しみながら料理が味わえます。



こちらのお店では「体に良くおいしいもの」を大切にしています。蕎麦はすべて無農薬、無化学肥料で栽培をしたそばを、石うすでひいて作っている自家製粉十割そばになります。そして、食材も野菜類は無農薬野菜を、調味料も昔ながらの良いものを選んで使用しています。



お料理は、冷たいお蕎麦は細打ちの玄そばに太打ちのそば、温かいお蕎麦はかけそば、きつねそば、にしんそばなどがあり、その他にもご飯もの、一品料理など多彩で何度足を運んでも飽きないお店です。

### 【定休日】

毎週水・木曜日（祝日は営業します）

### 【営業時間】

午前11時30分～午後2時まで

### 【連絡先】

☎ 87-3981



## 泉家具工房

平成6年、朝日村に工房を設立して注文家具の製作を中心に各地展示会、百貨店などに出品するなど、様々な活動をされています。

作品は、和家具の繊細さがあり作り方も合板は使わず、総無垢の和家具そのものなんです。全体的にも洋家具のイメージは洋家具のイメージもあり、おしゃれで使い勝手のいいものがいろいろとそろっています。そして、朝日村産のカラマツ材で作品を作る【朝日からまつ工房】を立ち上げ活動もされています。保育園、小学校に納入されたカラマツ材の机やいすもこちらで製作されたものになります。大学生になる我が娘も、中学、高校と進学していくにつれ小学校の頃の机とさすが使いやすいととても良かったと今でも言っています。

谷口さんは、「使いたいところに使いたい家具を使いたい人のために作っています。」ということ、まずは



問い合わせを頂きお話ができれば、最高のデザイン、使い勝手、そして一つしかない品物を提供できるとのことです。製品は、一般の広葉樹での製作が主ではありませんが、ご依頼があれば朝日村産のカラマツ材での製作もできるそうです。

### 【連絡先】

泉家具工房 谷口泉

朝日からまつ工房

☎ 090-1866-3310







## サラダの里通信

### ほけっと広場 クリスマス会・親子で楽しむ音楽あそび

12月23日(木)子育て支援センターわくわく館でほけっと広場のクリスマス会・親子で楽しむ音楽あそびが開催され、20組ほどの親子が参加しました。会場にはクリスマスツリーが飾られ、スタッフの衣装を含めてクリスマスの雰囲気漂う中、はじめに歌やピアノのリズムに合わせて親子でスキんシップを取って楽しんだ後、お待ちかねのサンタさんの登場。参加した子どもたち一人一人にプレゼントを手渡ししてまわり、またわくわく館のキッズルーム用にも多くのプレゼントを置いていってくれました。



ほけっと広場クリスマス会

### 朝日小学校 音楽会

11月18日(木)朝日小学校で音楽会が開催されました。昨年度は無観客でしたが、今年度は連学年(1・2年、3・4年、5・6年)の児童と発表学年の保護者が観客となり、各学級で作詞・作曲した学級歌の合唱や手話コーラス、合奏を鑑賞しました。また、子どもたちの頑張る姿や素敵な歌声を少しでも多くの保護者が観賞できるように、YouTubeでのライブ配信も行われました。



音楽会の様子

### あさひプライムスキー場安全祈願

12月10日(金)9時より、今シーズンの安全を願い、小林村長をはじめ、村議会正副議長、地元区長、村観光協会長やスキー場の関係者らが出席してあさひプライムスキー場の安全祈願が行われました。今年はず前より6日遅く、12月25日(土)に無事オープンし、2月27日(日)まで約2ヶ月間営業が行われる予定です。



安全祈願の様子

### あさひ保育園 クリスマス会

12月24日(金)あさひ保育園でクリスマス会が開催されました。未満児と以上児とで分けて開催され、以上児のクリスマス会に現れたのは黒い髪と黒い髭の英語を話すサンタさん。隣に控えるトナカイさんがサンタさんが話す英語を通訳してくれていました。年少のうさぎさん、年中のぱんださん、年長のきりんさんの順に並び、一人一人サンタさんから声をかけられたり名前を聞かれ、プレゼントを手渡してもらいました。保育園でも習っている英語で「ありがとう」と言ってみようということで、英語で「Thank you」と答えている子どもも多くいました。



プレゼントをもらう子どもたち





## JＡ野菜生産販売実績検討会

11月26日(金)に朝日村中央公民館講堂にてJＡ朝日支所の令和3年度野菜生産販売実績検討会が行われました。

検討会では、来賓祝辞に続き支所事業の報告が行われ、令和3年度の生産販売状況と次年度に向けた課題と対策が発表されました。

今年は昨年比で約102%の売上増となりましたが、レタスを中心に計画廃棄が行われるなど、来年に向けた課題もありました。また宣伝企画実施経過も報告され、キャンペーンの概要や宣伝企画等の状況について報告がされました。



検討会の様子

## 商工会地域貢献事業

11月19日(金)に商工会員による朝日小学校校坂の落葉拾いが行われました。

この季節は落葉が多くなることで道路が歩きにくくなり、小学生の通学に影響することから、商工会では地域貢献事業の一環として毎年この時期に学校坂の落葉拾いを行っています。当日は天候にも恵まれ、商工会員約30名が小学校坂の落葉拾いを行いました。

商工会では毎年6月にも県道沿いのゴミ拾いを行っており、これらの活動は今後も続けて行く予定とのことです。



落葉拾いの様子



参加メンバー

## 西洗馬分館元旦マラソン

令和4年1月1日(土)に西洗馬分館第41回元旦マラソンが開催されました。

昨年は新型コロナの影響で中止となりましたが、今年は「マスク着用の徹底」「開閉会式等のセレモニーなし」「受付順にスタート」「ゴール後景品を受取り流れ解散」等、感染防止を考慮しての開催となりました。

初日を浴びて、参加者約120人、それぞれのペースで楽しみながらコースを一周して



ゴール



初日とコース

## 針尾分館落語会

11月28日(日)に中央公民館講堂で針尾分館主催による落語会が行われました。

新型コロナの影響で分館事業がなかなか出来ない中、針尾分館では落語家の和泉家志ん治さんと手品師の和泉屋ピースさんを招き、落語会を開催しました。当日は50名ほど参加し、生の落語と手品を大変楽しんでいました。

針尾分館 分館視察事業

### 和泉家志ん治 落語会



和泉家志ん治

松本市出身  
明治大学 卒業  
明治大学落語研究会 出身  
在学中より初代金原季馬の助に師事  
日本笑い学会 会員 笑い療法士

**令和3年11月28日(日)**

会場 朝日村中央公民館 講堂

開場 午後1時30分 公演 午後2時より(90分～120分程度)

出演者 和泉家志ん治(落語家・笑い療法士)・和泉家ピース(手品師)

# 窓口情報

## おくやみ

※本人の了承を得て掲載しています。

地区名	氏名	年齢	世帯主
上組	柳沢 幸男	91	柳沢 かね
下洗馬	三村 たか子	90	三村 定之
芦之久保	加藤 輝子	95	加藤 幸夫

地区名	氏名	年齢	世帯主
下洗馬	中村 守雄	93	中村 牧夫
原新田	中村 稔	85	中村 元紀
原新田	小林 弘	85	小林 登

### 人つなく米

時が経つのは早いもので、朝日村に移り住んで来春でまる10年になる。そして、ご近所さんのご好意でお借りした田んぼでの米作りが今年で9度目。様々な人たちの力添えもあり、米の味、収量はかなり安定してきた。少しは腕を上げたな、と自分を褒めたい。

稲刈りが終わり、2人で暮らす我が家には十分すぎるほど収穫された米は毎年東京に住む両親、兄弟、はたまた北海道や関西、日本の様々な場所に暮らす友人に送られ、しばらくすると今度は「おいしかったよ」のメッセージとともに鮭やらみかんやらその土地の海の幸山の幸が我が家に届く。自分で作った米を誰かが食べ、喜んでもらえるとは嬉しいかぎりである。さらに、そのおかげで秋になれば山国信州にいながら、自分で育てた新米とともに北海道から届いた鮭を焼いて楽しむことができるなんてなんと贅沢な話だろう。

それとは少し違う話ではあるけれど、米作りを初めて以来、誰かに会うと「たんぼの調子はどう？」と声をかけてもらえるようになった。ちっぽけなことかもしれないが、大袈裟な言い方をすれば米が人をつないでくれた

そんな瞬間、「米作ってよかったな」と思ったりする。

10年目を前にして今までと違うことをしようと思いつき、今年にはイタリアのお米とコシヒカリを掛け合わせたリゾット用のお米を作付してみた。見慣れない立ち姿の稲に目を止めた近所の農家の方たちからは「これはなんていう品種だね？」と声をかけてもらい、収穫した米を送った東京の友人からは試したレシピとともに喜びの写真が送られてきた。新しい品種を試して、人とのつながりがまた少しだけ広がった気がする。

そんなこんなで9年間存分に楽しませてもらった烏帽子岳の美しい姿が望める鎖川沿いの田んぼも、農地の再整備が始まるため今年でお別れになりそうだ。少し淋しくはあるが、変化を受け入れ、来年は新たな場所でもまた米作りを続けようと思う。山高く水清きこの村で育つ米ならば、きっとこれからも私を多くの人たちとつないでいってくれるはずだ。

うがじん たくや  
**宇賀神 拓也**  
(針尾)

お台所  
**エッセイ**

149



## みんなのアトリエ



朝日小学校 1年1組  
たけだ ゆつき  
**武田 悠月さん**  
「にじがきれいだね」  
虹がきれいに描きました。



朝日小学校 2年1組  
なかはら るあ  
**中原 瑠愛さん**  
「たまごから夕焼けの空で遊んでることが生まれたよ」  
うしろの夕やけをがんばって塗りました。



朝日小学校 4年1組  
かとう しょうた  
**加藤 翔太さん**  
「キリン」  
色塗りがよくできました。